

「土しゃさいがいについて」

宇多津北小学校 3年 清水 稜太さん

七月のおわりに、大雨がにいがたけんをおそいました。川があふれてまわりの家や田んぼに大きなひがいがありました。ひなんした人も多くいたようです。テレビで見て、自ぜんさいがいつてこわいんだなあと思いました。

土しゃさいがいは、大雨によって山や谷にある土が、ものすごいスピードで家や田畑に流れ落ちる土石流。雨水が土地にしみこんでおちる地すべり。大雨によってがけがくずれるがけくずれがあります。

自ぜんさいがいはどこにでもおこることだと思います。そのさいがいをよぼうとするために、山がくずれないように木をうえたり、土石流をふせぐためにさぼうダムを作ったり、がけくずれがおこらないようにコンクリートのわくでおさえてわくの中にしばや木をうえたりしているようです。

自分たちに、できることは、すんでいる場所をよく知ることだと思います。ぼくのすむうたづ町では、前にハザードマップが、くばられました。そのマップを見ると今まで知らなかったけれど、うたづ町にも土石流きけんくいきや、しん水をよそうされる場所がたくさんあってびっくりしました。ひなん場所ものせていたので、もしもの時のためにおぼえておかなければいけないなと思いました。